

# 第51回 神奈川県消化器病医学会総会

## プログラム・抄録集

〔日 時〕 平成30年11月10日(土)

13:00～18:17

〔会 場〕 新横浜プリンスホテル 4階「桜川」

〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4

TEL：045-471-1111(代表)

当番世話人：横浜市立大学 消化器内科学教室 教授

前田 慎

主 催：神奈川県消化器病医学会

# お知らせ

拝啓

神奈川県消化器病医学会は、昭和37年5月に実施医家を中心として誕生した学会です。

私も平成19年10月より神奈川県消化器病医学会の会長を引き継がせて頂き、11年経ちました。神奈川県消化器病医学会は財務上の面も安定しつつあり、ようやく軌道に乗ってきたのではないかと思います。これも会員の皆様方のお陰だと思えます。今後とも宜しく願い申し上げます。

毎年、研究会と総会を交互に行っており、春には実施医家の先生方中心に県内を6地区に分け順番に研究会の当番世話人をお願いしており、秋には大学の教授の先生方に総会の当番世話人をお願いしております。

第51回神奈川県消化器病医学会総会は横浜市立大学 消化器内科学教室 教授 前田慎 先生に当番世話人をお願いしました。一般演題が25題で、特別講演は東京大学医科学研究所 臨床ゲノム腫瘍学分野 教授 古川洋一 先生に「次世代シーケンス解析を用いたゲノム医療の展開」についてお話をさせていただくことになりました。また、ワークショップは「*Helicobacter pylori* 感染をめぐる問題点」のテーマにて、司会は神奈川県立がんセンター 井口靖弘 先生をお願いしました。最新の話題が聞けるのを楽しみにしています。

会員の先生方にも今回の内容にご満足頂けるのではないかと考えております。最近の一般演題は興味深い症例発表が多く、若手医師の育成の場のようになっていますので是非とも会員の先生にも積極的なご参加・ご指導をお願い申し上げます。今後も会員の先生方にきめ細かい配慮を行っていかうと思っておりますので宜しくお願いします。

平成30年11月吉日

敬 具

## 神奈川県消化器病医学会

会 長 峯 徹 哉

事務局 〒259-1193 伊勢原市下糟屋143

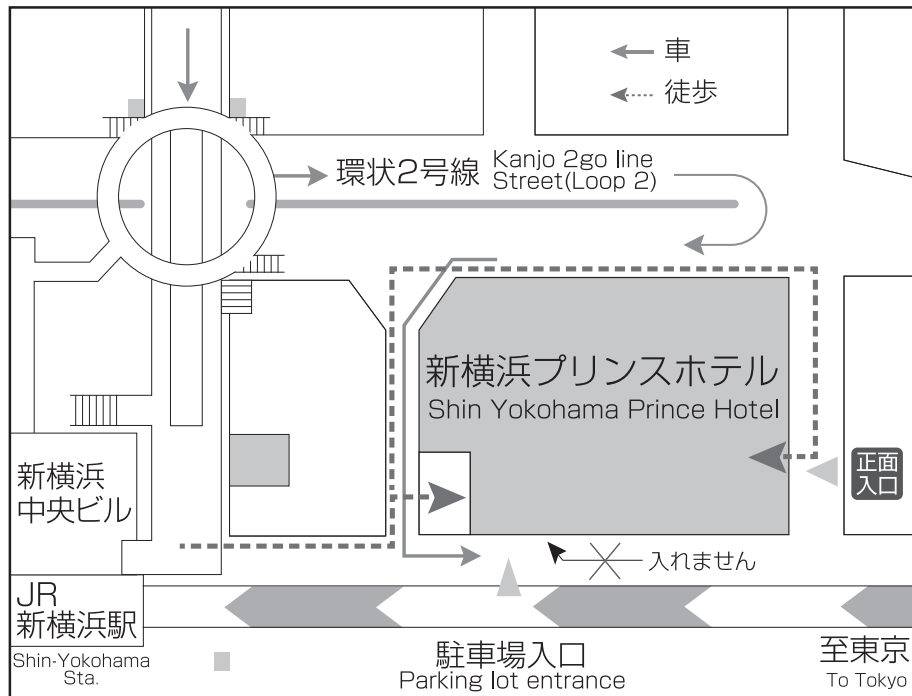
東海大学医学部内科学系消化器内科学 峯教授室内

TEL：0463-93-1121

FAX：0463-91-5621

# 案内図

## 新横浜プリンスホテルのご案内



〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4

TEL：045-471-1111（代表）

### 〔交通〕 ◎電車で

JR・横浜市営地下鉄（ブルーライン）

「新横浜駅」から徒歩 約2分

### ◎車で

東名高速道路「横浜青葉I.C.」 約25分（平常時）

第三京浜道路「港北I.C.」 約5分（平常時）

羽田空港より直行バス 約40分（平常時）

### ◎駐車場

台数に限りがありますが、新横浜プリンスをご利用下さい。

※当日は周辺道路の混雑が予想されます。なるべく公共交通機関をご利用下さい。

## <会員の皆様へのご連絡>

○当日会場整理費として1,000円を徴収させていただきますのでご了承下さい。

○年会費未納の方、当日受付にてお納め下さい。

日本医師会生涯教育講座 取得単位 2.5単位

カリキュラムコード・21：食欲不振

27：黄疸

28：発熱

53：腹痛

54：便通異常（下痢、便秘）

## ＜演題発表に関するご注意＞

- 1) 一般演題の講演時間は7分とし、講演5分、質疑2分とします。
- 2) 発表は全てパソコンを使用する形式といたします。つきましては、パソコンによる発表の方法を以下の通りご案内申し上げます。

事務局ではプロジェクターを準備いたしますので、発表者はパソコン本体及びUSBメモリ・CD-Rメディアをお持ち下さい。

### 【パソコン使用上の注意事項】

#### ①パソコンについての確認・必須事項

- ・会場にはWindowsパソコンを準備いたします。
- ・Macintoshパソコンの場合はパソコン本体ならびにアダプターをお持ち下さい。
- ・XGA以上の解像度を外部出力可能な機種をお持ち下さい。
- ・お持ち込みの場合は、バッテリーおよびACアダプター（電源コード）をお持ち下さい。
- ・本体に外部出力用端子（アナログD-sub ミニ 15ピンRGB端子）が付いている事をご確認下さい。無い場合は付属の外部接続用変換ケーブルをお持ち下さい。
- ・発表するDATAは全て（動画のリンク等も含め）すぐわかる位置に保存してある事を確認して下さい。
- ・スクリーンセーバー等の設定をお切り下さい。また、自動で立ち上がるウイルス対策ソフト等の設定もお切り下さい。
- ・パソコン立ち上げ時のpassword設定は解除しておくか、PCオペレーターにその旨ご教示下さい。

#### ②学会準備PC環境（他のPCにて動作確認を行って下さい。）

- ・画面サイズ：XGA（1,024 × 768）
- ・OS：Windows 10
- ・アプリケーション：Power Point 2007以降に対応しております。
- ・使用フォント：Windows標準搭載フォント（MSゴシック、MS明朝、Times New Roman、Arialなど）
- ・データ容量：10MB程度（動画データがある場合は50MB程度）
- ・搭載ドライブ：DVD-RAM、CD-R

#### ③パソコンの確認には時間がかかりますので発表時間の30分前にはPC受付にて確認をお済ませ下さい。

- 3) 抄録は神奈川医学会雑誌に掲載いたします。抄録に変更がある場合は再提出して下さい。再提出の場合は以下の要領をお願いします。

- ①抄録はA4版縦の横書き（20×20字の400字）でワープロ作成して下さい。
- ②所属、演者名含め600文字以内でまとめて下さい。

15:02～15:32 コーヒーブレイク時に別室4階「若菜」にて評議員会を開催いたします。  
評議員の先生方へご出席くださるようお願いいたします。  
また、コーヒーブレイク時に会場にてお飲み物をご用意いたします。

## 展示のご案内

展示時間：13:00～18:17

展示場所：新横浜プリンスホテル 4階 学会会場前ロビー

オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

富士フイルムメディカル株式会社

ミヤリサン製薬株式会社

## 評議員会開催のお知らせ

日時：11月10日(土) 15:02～15:32

場所：新横浜プリンスホテル 4階「若菜」

### 第51回 神奈川県消化器病医学会総会

◆ 総合事務局 (横浜市立大学 消化器内科学教室)

統括責任者 前田 慎

(横浜市立大学 消化器内科学教室 教授)

TEL：045-787-2326

◆ 総会事務局 (当日)

新横浜プリンスホテル 4階 407号会議室

TEL：045-471-1111 (代表)

開会挨拶 13:00 ~ 13:05

神奈川県消化器病医学会 会長 峯 徹哉

一般演題『消化管1』 13:05 ~ 13:47

座長 北里大学医学部 消化器内科学 和田 拓也

① 巨大小腸GISTの1切除例

横浜市立大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科<sup>1)</sup>  
横浜市立大学附属病院 病理診断科<sup>2)</sup>

○小林侑華子<sup>1)</sup>、小坂 隆司<sup>1)</sup>、藤田 亮<sup>1)</sup>、神田 智希<sup>1)</sup>、木下 颯花<sup>1)</sup>、  
布施 匡啓<sup>1)</sup>、鈴木 紳祐<sup>1)</sup>、小澤真由美<sup>1)</sup>、石部 敦士<sup>1)</sup>、秋山 浩利<sup>1)</sup>、  
日比谷孝志<sup>2)</sup>、三宅 暁夫<sup>2)</sup>、加藤 生真<sup>2)</sup>、山中 正二<sup>2)</sup>、大橋 健一<sup>2)</sup>、  
遠藤 格<sup>1)</sup>

② 6品目除去による食事療法が奏功した好酸球性腸炎の1例

神奈川県立足柄上病院 消化器内科<sup>1)</sup>  
同 総合診療科<sup>2)</sup>  
横浜市立大学 消化器内科学教室<sup>3)</sup>

○比嘉 愛理<sup>1)</sup>、大石梨津子<sup>1)</sup>、國司 洋佑<sup>1)</sup>、日下恵理子<sup>1)</sup>、田中 聡<sup>1)</sup>、  
柳橋 崇史<sup>1)</sup>、羽尾 義輝<sup>1)</sup>、加藤 佳央<sup>1)</sup>、高橋 幸大<sup>2)</sup>、安田 優<sup>2)</sup>、  
倉上 優一<sup>2)</sup>、岩渕 敬介<sup>2)</sup>、吉江浩一郎<sup>2)</sup>、前田 慎<sup>3)</sup>

③ Meckel憩室にカルチノイド腫瘍を合併した一例

藤沢湘南台病院 外科<sup>1)</sup>  
横浜市立大学 外科治療学<sup>2)</sup>

○田村 周三<sup>1)</sup>、五代 天偉<sup>1)</sup>、土井 雄喜<sup>1)</sup>、岡本 浩直<sup>1)</sup>、本庄 優衣<sup>1)</sup>、  
熊切 寛<sup>1)</sup>、深野 靖史<sup>1)</sup>、田村 功<sup>1)</sup>、利野 靖<sup>2)</sup>、山本 裕司<sup>1)</sup>、  
鈴木紳一郎<sup>1)</sup>、益田 宗孝<sup>2)</sup>

④ Colitis cystica profundaに合併した早期直腸癌の一例

横浜市立大学医学部 医学科<sup>1)</sup>、  
横浜市立大学附属市民総合医療センター 内視鏡部<sup>2)</sup>

○中山 泉<sup>1)</sup>、小林 亮介<sup>2)</sup>、鈴木 良優<sup>2)</sup>、澤田 敦史<sup>2)</sup>、西尾 匡史<sup>2)</sup>、  
池田 良輔<sup>2)</sup>、福地 剛秀<sup>2)</sup>、佐藤 知子<sup>2)</sup>、平澤 欣吾<sup>2)</sup>

⑤ 感染性腸炎を契機に発症した成人腸重積症に対し内視鏡的整復を行った1例

藤沢湘南台病院 消化器内科<sup>1)</sup>  
同 健康管理部<sup>2)</sup>

○中村 俊貴<sup>1)</sup>、山本 敦史<sup>1)</sup>、土谷 一泉<sup>1)</sup>、大熊 幹二<sup>1)</sup>、松田 玲圭<sup>1)</sup>、  
高橋 大介<sup>2)</sup>

⑥ 門脈ガス血症を繰り返した多発性小腸潰瘍の一例

済生会横浜市南部病院 消化器内科 後期研修医<sup>1)</sup>、済生会横浜市南部病院<sup>2)</sup>

○遠藤 和樹<sup>1)</sup>、川名 一朗<sup>2)</sup>、菱木 智<sup>2)</sup>、所 知加子<sup>2)</sup>、石井 寛裕<sup>2)</sup>、  
亀田 英里<sup>2)</sup>、石井 泰明<sup>2)</sup>、西村 正基<sup>2)</sup>、小野寺 翔<sup>2)</sup>、金丸 雄志<sup>2)</sup>、  
濱口 智美<sup>2)</sup>、佐藤 博紀<sup>2)</sup>

座長 北里大学医学部 消化器内科学 田中 賢明

⑦ 経口DAA剤投与により著しい食思不振が出現し、続いて広範な帯状疱疹が出現し難渋した2症例

たらお内科・消化器科

○多羅尾和郎

⑧ 拡大肝左葉切除術を施行するも再発した肝原発平滑筋肉腫の一例

北里大学病院 消化器内科

○原田 洋平、田中 賢明、和田 尚久、窪田 幸介、井上 智仁、  
山根 敬子、魚嶋 晴紀、日高 央、中澤 貴秀、渋谷 明隆、  
小泉和二郎

⑨ 針刺し事故を契機に発症した急性C型肝炎の1例

秦野赤十字病院 消化器内科

○曾谷 祐貴、吉村 築、三浦 雄輝、池田 彰彦、田中 克明

⑩ 当院における進行肝細胞癌に対するレゴラフェニブの使用経験

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター<sup>1)</sup>  
横浜市立大学附属病院<sup>2)</sup>

○小串 勝昭<sup>1)</sup>、守屋 聡<sup>1)</sup>、原 浩二<sup>1)</sup>、野崎 昭人<sup>1)</sup>、中馬 誠<sup>1)</sup>、  
福田 浩之<sup>1)</sup>、沼田 和司<sup>1)</sup>、近藤 正晃<sup>2)</sup>、前田 慎<sup>2)</sup>

⑪ 肝細胞癌に対するレゴラフェニブ療法の初期使用経験

神奈川県立がんセンター

○福島 泰斗、小林 智、上野 誠、佐野 裕亮、河野 邦幸、  
浅間 宏之、大川 伸一、森本 学

『*Helicobacter pylori* 感染をめぐる問題点』

座長 神奈川県立がんセンター 消化器内科 井口 靖弘

W① 胃内に混在する複数種*H. pylori*からみたNGS遺伝子異常解析

総合川崎臨港病院 内科<sup>1)</sup>

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科<sup>2)</sup>

○渡邊 嘉行<sup>1,2)</sup>、及川 律子<sup>2)</sup>、佐藤 義典<sup>2)</sup>、山本 博幸<sup>2)</sup>、  
安田 宏<sup>2)</sup>、伊東 文生<sup>2)</sup>

W② 当院におけるHHLO検索の現状

北里大学医学部 消化器内科学<sup>1)</sup>

同 新世紀医療開発センター<sup>2)</sup>

北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 病態解析学<sup>3)</sup>

○和田 拓也<sup>1)</sup>、田邊 聡<sup>2)</sup>、中村 正彦<sup>3)</sup>、小泉和二郎<sup>1)</sup>

### W③ 当院における *Helicobacter pylori* 三次除菌の成績

東海大学医学部附属病院<sup>1)</sup>  
茅ヶ崎クリニック<sup>2)</sup>

○横田 将<sup>1)</sup>、藤澤 美亜<sup>1)</sup>、佐野 正弥<sup>1)</sup>、小玉 敏生<sup>1)</sup>、新井 圭一<sup>1)</sup>、  
門馬 牧子<sup>1)</sup>、水上 創<sup>1)</sup>、中原 史雄<sup>1)</sup>、中村 淳<sup>1)</sup>、内田 哲史<sup>1)</sup>、  
白倉 克也<sup>2)</sup>、小池 潤<sup>1)</sup>、鈴木 孝良<sup>1)</sup>、松嶋 成志<sup>1)</sup>、峯 徹哉<sup>1)</sup>

### W④ *H. pylori* の *Clarithromycin* 耐性率の増加と培養感受性に基づく tailored eradication の有用性

横浜市立大学 消化器内科学教室

○須江聡一郎、芝田 渉、佐々木智彦、金子 裕明、入江 邦泰、  
近藤 正晃、前田 慎

————— [コーヒーブレイク] (15:02 ~ 15:32) —————

総会 ————— 15:32 ~ 15:42

神奈川県消化器病医学会 会長 峯 徹哉

特別講演 ————— 15:42 ~ 16:32

座長 横浜市立大学 消化器内科学教室 前田 慎

#### 「次世代シーケンス解析を用いたゲノム医療の展開」

東京大学医科学研究所 臨床ゲノム腫瘍学分野 古川 洋一

一般演題『胆膵1』 ————— 16:32 ~ 17:00

座長 東海大学医学部 消化器内科 川嶌 洋平

#### ⑫ 骨髄癌腫症を呈した胆道癌の一例

横浜南共済病院 消化器内科

○土田 敬介、吉村 勇人、渡部 衛、石田 彩花、船岡 昭宏、  
嵩原小百合、中山 沙映、飯塚 千乃、天野 仁至、飯谷 慎、  
有馬 功、西郡 修平、金子 卓、岡 裕之、岡崎 博



⑬ シングルバルーン内視鏡を用いた直接胆道鏡が有用であった胆管空腸吻合術後胆石性胆管炎の1例

済生会横浜市南部病院 消化器内科<sup>1)</sup>  
同 外科<sup>2)</sup>

○佐藤 博紀<sup>1)</sup>、石井 寛裕<sup>1)</sup>、濱口 智美<sup>1)</sup>、遠藤 和樹<sup>1)</sup>、金丸 雄志<sup>1)</sup>、  
小野寺 翔<sup>1)</sup>、西村 正基<sup>1)</sup>、石井 泰明<sup>1)</sup>、亀田 英里<sup>1)</sup>、所 知加子<sup>1)</sup>、  
菱木 智<sup>1)</sup>、川名 一朗<sup>1)</sup>、今田 敏夫<sup>2)</sup>

⑭ 切除不能局所進行膵癌に対する化学療法・化学放射線療法により病理学的CRが得られた1例

神奈川県立がんセンター 消化器内科肝胆膵

○佐野 裕亮、上野 誠、河野 邦幸、福島 泰斗、浅間 宏之、  
小林 智、森本 学

⑮ 下部胆管転移を来した乳癌の一例

大和市立病院 消化器内科

○林 慧、亀田 亮、竹内 加奈、浅見 昌樹、柳田 直毅、  
山本 和寿

一般演題『胆膵2』 \_\_\_\_\_ 17:00 ~ 17:28

座長 横浜市立大学 消化器内科学教室 入江 邦泰

⑯ EUS-FNAで診断した転移性膵癌の1例

横須賀共済病院

○山下 萌、慶徳 大誠、松本 浩明、三代 博之、村田 彩、  
小原 淳、田代 祥博、野澤さやか、古谷 晴子、小馬瀬一樹、  
田邊 陽子、新井 勝春、渡邊 秀樹、鈴木 秀明

⑰ 画像上は浸潤性膵管癌が疑われながら、肝腫瘍生検にて稀な膵原発悪性リンパ腫と診断された1例

大和市立病院 消化器内科

○竹内 加奈、亀田 亮、林 慧、浅見 昌樹、柳田 直毅、  
山本 和寿

⑱ EUS-FNAにおける25G フランシー型穿刺針の有用性

藤沢市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター<sup>2)</sup>

横浜市立大学医学部 消化器内科学<sup>3)</sup>

○土屋 洋省<sup>1)</sup>、稲垣 尚子<sup>1)</sup>、渋井 俊祐<sup>1)</sup>、石川 優<sup>1)</sup>、廣瀬 俊晴<sup>1)</sup>、  
長島 周平<sup>1)</sup>、宮崎茉莉子<sup>1)</sup>、近藤 新平<sup>1)</sup>、安藤 知子<sup>1)</sup>、田村 寿英<sup>1)</sup>、  
三輪 治生<sup>2)</sup>、岩瀬 滋<sup>1)</sup>、前田 慎<sup>3)</sup>

⑲ PNECに対しIP療法を施行中に髄膜癌腫症をきたし急な転機をたどった一例

横浜市大附属市民総合医療センター 消化器病センター<sup>1)</sup>

横浜市立大学 消化器内科学教室<sup>2)</sup>

○小倉 望<sup>1)</sup>、合田 賢弘<sup>1)</sup>、中森 義典<sup>1)</sup>、戸塚雄一朗<sup>1)</sup>、小宮山哲史<sup>1)</sup>、  
佐藤 健<sup>1)</sup>、三輪 治生<sup>1)</sup>、杉森 一哉<sup>1)</sup>、沼田 和司<sup>1)</sup>、前田 慎<sup>2)</sup>

⑳ Ramucirumab 及び Paclitaxel 療法中に腫瘍出血を来し胃切除を施行した進行胃癌の一例

横浜市立大学附属病院

○森 佳織、青山 徹、森田 順也、前澤 幸男、天野 新也、  
澤崎 翔、沼田 正勝、玉川 洋、佐藤 勉、大島 貴、  
益田 宗孝、利野 靖

㉑ 異所性胃粘膜から発生した食道腺腫の一例

神奈川県立足柄上病院<sup>1)</sup>

横浜市立大学附属市民総合医療センター 内視鏡部<sup>2)</sup>

○日下恵理子<sup>1)</sup>、小林 亮介<sup>2)</sup>、國司 洋佑<sup>1)</sup>、大石梨津子<sup>1)</sup>、田中 聡<sup>1)</sup>、  
柳橋 崇史<sup>1)</sup>、加藤 佳央<sup>1)</sup>

㉒ 胃全摘後の悪性消化管閉塞に対して消化管ステント留置術を施行した一例

横須賀市立市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

横浜市立大学医学部 消化器内科学<sup>2)</sup>

○山近 由衣<sup>1)</sup>、鈴木 悠一<sup>1)</sup>、道端 信貴<sup>1)</sup>、入江 邦泰<sup>2)</sup>、三輪 治生<sup>2)</sup>、  
小松 和人<sup>1)</sup>、前田 慎<sup>2)</sup>

㉓ 診断に難渋した胃底腺粘膜型胃癌の一例

藤沢市民病院 消化器内科<sup>1)</sup>

同 病理診断科<sup>2)</sup>

○廣瀬 俊晴<sup>1)</sup>、田村 寿英<sup>1)</sup>、渋井 俊祐<sup>1)</sup>、土屋 洋省<sup>1)</sup>、長島 周平<sup>1)</sup>、  
宮崎茉莉子<sup>1)</sup>、近藤 新平<sup>1)</sup>、稲垣 尚子<sup>1)</sup>、岩瀬 滋<sup>1)</sup>、権藤 俊一<sup>2)</sup>、  
田尻 亮輔<sup>2)</sup>

㉔ 短期間に急速増大した巨大胃腺腫の1例

神奈川県立がんセンター 消化器内科

○仲 ありさ、井口 靖弘、尾関雄一郎、林 公博、西村 賢、  
中山 昇典、本橋 修

㉕ 腹水貯留を契機に診断された全身性エリテマトーデスの一例

横浜掖済会病院 内科

○鈴木 伸吾、内藤 実、石井ゆにば、高畑 豪、伊藤ちひろ、  
長倉 靖彦

閉会の辞 18:10 ~ 18:17

当番世話人 横浜市立大学 消化器内科学教室 前田 慎